

証券コード：2397

# 第12期 事業報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

# 株主の皆様へ



代表取締役社長  
的場 亮

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに第12期事業報告書をお届けするにあたり、先ずは去る3月11日の東日本大震災により被災された多くの方々に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

バイオテクノロジー分野は目覚しく進歩しており、常に新しい技術が開発され、それをを用いた新しい発見・研究成果などから、様々な産業分野への応用が

広がっています。特に、医療分野における影響は大きく、その結果として、年々平均寿命が伸びてきています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノム研究のエキスパートとして優れた技術開発をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発をおこない、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、日本で、世界で急速に進みつつある高齢化社会に向けて、誰もが未病で暮らせるためのツール開発を行ってまいります。

ここに、第12期事業報告書をお届けし、当社の経営成績をご報告致します。

## 当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策を初めとする政策の効果などを背景によりやく回復基調が見え始めたものの、本年3月11日に発生した東日本大震災、福島原子力発電所の事故という未曾有の危機、またそれに伴う計画停電の実施などが国内経済に及ぼす影響は計り知れず、先行きの影響は見通しづらい状況となっております。

政治情勢においては経済情勢以上に大きく変化し、新政権発足後各分野で新しい政策が打ち出されましたが、この中で当社が関連するライフサイエンス分野につきましては、新成長戦略において重要な戦略分野として掲げられ、現実には、社会の急速な高齢化への対処と、癌やメタボリック・シンドロームなどに対する予防医療の必要性が強く打ち出されており、大震災並びに関東地区における計画停電などで一時的に経済の悪化局面に陥ることが懸念されますが、長期的にはラ

イフサイエンス関連環境における需要は安定的に進むものと考えております。

このような状況下において、当社は選択と集中による研究受託事業の拡大による業績改善を目標に、受託解析サービス事業の強化及び診断事業メニューの充実を図りました。

この結果、当期の売上高は、593百万円（前年同期比81.7%）、営業損失は153百万円で、経常損失は152百万円、当期純損失155百万円となりました。

## 研究受託

研究開発事業においては、公立機関の研究受託公募に新技術を活用した研究開発を積極的に提案し、新たに独立行政法人科学技術振興機構（JST）及び独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に提案が採択されました。

マイクロアレイを使用した受託解析サービスでは、リピート顧客フォローの充実による繰り返し受注の確保と、運動疲労・精神疲労チェックなどの提案型研究受託案件の強化を図っております。また、新規受託メニューとして、WaferGenBiosystems, Inc.製SmartChip<sup>(注)</sup>を用いた受託を開始しました。

診断事業においては、リウマチ総合診断支援サービス拡販の一環として、提携クリニックの充実を推進するとともに、平成22年10月より臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化した統合臨床インフォマティクス・システム「iCIS」の販売サービスを開始し、平成23年3月にそのファミリー製品である臨床研究遺伝子発現データベース・ソフトウェア製品「iCIS-crdb」を国内大手製薬企業に納入しました。

その結果、当期の売上高は、347百万円（前年同期比121.1%）となりました。

## 商品販売

複数の医学系大学から「ハイブリ先生」を受注するとともに、公的研究機関から高速シーケンサ関連の試薬を受注しました。しかしSmartChip<sup>(注)</sup>やスキャナー装置など当初予想していた機器・システムの受注が確保できず、大幅に売上予算を下回りました。

その結果、当期の売上高は、246百万円（前年同期比56.0%）となりました。

(注) SmartChip：一度に5,000以上の反応が可能なReal time PCR装置で、従来のReal time PCR装置の10倍以上のパフォーマンスを有している。また、1反応が100nlと非常に微量で、従来の反応の100分の1の容量で測定することができる。

平成23年6月

代表取締役社長 的場 亮

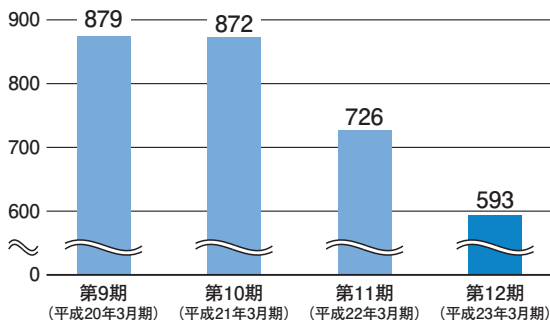
## Contents

● 株主の皆様へ	1	● 事業の内容	5
● 財務諸表	3	● 会社の概況	6



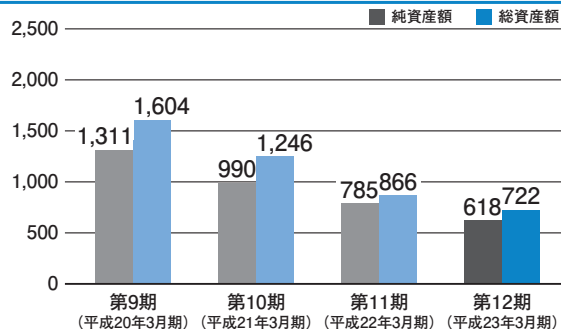
### 売上高

(単位：百万円)



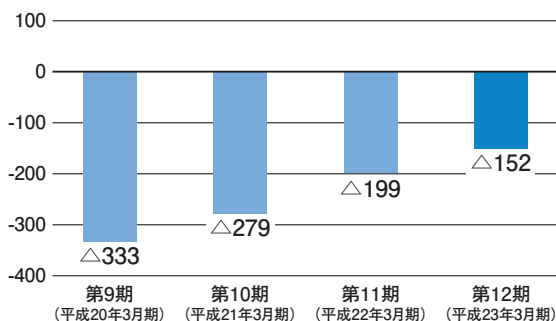
### 純資産額／総資産額

(単位：百万円)



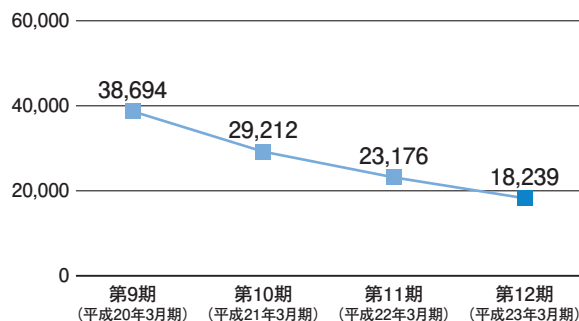
### 経常利益

(単位：百万円)



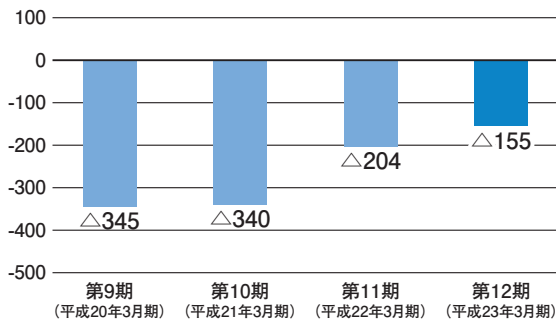
### 1株当たり純資産額

(単位：円)



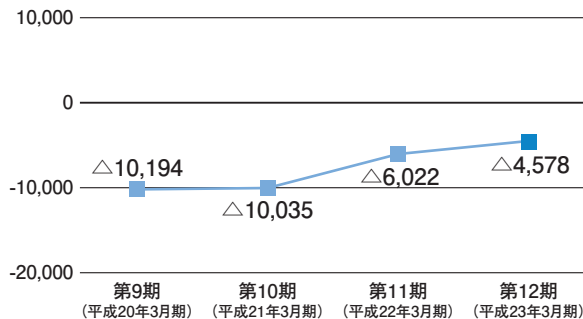
### 当期純利益

(単位：百万円)



### 1株当たり当期純利益

(単位：円)



# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成22年3月31日	当事業年度 平成23年3月31日	科目	前事業年度 平成22年3月31日	当事業年度 平成23年3月31日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>781,637</b>	<b>659,728</b>	<b>流動負債</b>	<b>79,566</b>	<b>102,569</b>
現金及び預金	550,798	302,393	買掛金	42,111	67,647
受取手形	71,652	25,006	未払金	1,000	2,428
売掛金	111,436	310,128	未払消費税等	—	4,987
商品	36,901	15,001	未払法人税等	2,192	3,358
仕掛品	3,238	2,569	未払費用	20,661	22,730
未収入金	1,738	126	前受金	12,191	—
その他	5,871	4,502	預り金	1,409	1,417
<b>固定資産</b>	<b>85,222</b>	<b>62,984</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,683</b>	<b>1,878</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>31,905</b>	<b>25,001</b>	退職給付引当金	1,683	1,878
建物	121	104	<b>負債合計</b>	<b>81,250</b>	<b>104,448</b>
工具、器具及び備品	31,783	24,897	<b>純資産の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>1,714</b>	<b>857</b>	<b>株主資本</b>	<b>786,090</b>	<b>630,904</b>
ソフトウェア	1,131	275	資本金	1,116,368	1,116,368
施設利用権	582	582	資本剰余金	1,028,918	1,028,918
<b>投資その他の資産</b>	<b>51,602</b>	<b>37,125</b>	資本準備金	1,028,918	1,028,918
投資有価証券	50,300	35,971	利益剰余金	△1,359,196	△1,514,382
その他	1,302	1,154	その他利益剰余金	△1,359,196	△1,514,382
<b>資産合計</b>	<b>866,860</b>	<b>722,712</b>	繰越利益剰余金	△1,359,196	△1,514,382
			<b>評価・換算差額等</b>	<b>△480</b>	<b>△12,640</b>
			その他有価証券評価差額金	△480	△12,640
			<b>純資産合計</b>	<b>785,610</b>	<b>618,264</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>866,860</b>	<b>722,712</b>



## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	726,701	593,597
売上原価	701,426	470,962
売上総利益	25,275	122,635
販売費及び一般管理費	230,992	276,400
営業損失(△)	△ 205,717	△ 153,765
営業外収益	6,131	1,698
受取利息及び配当金	6,090	1,377
その他	40	320
経常損失(△)	△ 199,586	△ 152,066
特別利益	10,261	9,892
国庫補助金	10,261	9,892
特別損失	13,861	12,061
固定資産圧縮損	10,261	9,892
投資有価証券評価損	3,600	2,169
税引前当期純損失(△)	△ 203,186	△ 154,235
法人税、住民税及び事業税	950	950
法人税等調整額	—	—
当期純損失(△)	△ 204,136	△ 155,185

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△232,632	△243,457
投資活動による キャッシュ・フロー	190,033	△4,947
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△42,599	△248,404
現金及び現金同等物の 期首残高	593,397	550,798
現金及び現金同等物の 期末残高	550,798	302,393

## 株主資本等変動計算書

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
平成22年3月31日残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,359,196	△1,359,196	786,090	△480	△480	785,610
事業年度中の変動額									
当期純損失				△155,185	△155,185	△155,185			△155,185
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							△12,160	△12,160	△12,160
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△155,185	△155,185	△155,185	△12,160	△12,160	△167,345
平成23年3月31日残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,514,382	△1,514,382	630,904	△12,640	△12,640	618,264

# 事業の内容

## ■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

## ■ 研究テーマ

### →RNAチェック™

- 関節リウマチに関する研究
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージⅡ大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発
- 疲労
- 免疫年齢

### →ゲノム医学

- ジェノタイピングから臨床遺伝統計解析までのゲノム医学解析
- 突発性疾患、遺伝性疾患、多因子疾患、先天異常等それぞれの疾患に適した解析アルゴリズムを用いたCNV解析

## ■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。



- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析、メチレーション解析
- 次世代型超高速超高感度Real Time PCRによる網羅的な遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 次世代シーケンサーを用いた遺伝子発現解析、メチレーション解析
- 統計解析サービス
- 理研ジェネシスとの業務提携による大規模SNPタイピング・高速DNAシーケンス解析技術・CNV解析技術を組み合わせたゲノム解析

## ■ 製品／診断サービス（研究用）

### 製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材

### 診断サービス（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力可能な問診システム
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス



# 会社の概況

## ■ 会社概要

**会社名** 株式会社 DNAチップ研究所  
**英文名** DNA Chip Research Inc.  
**設立年月日** 1999年4月1日  
**住所** 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-43  
**資本金** 111,636万円  
**人員** 26名 (内Ph.D. 5名)  
**役員** 代表取締役社長 的場 亮  
 常務取締役 柴 勉  
 取締役 松原 謙一  
 社外取締役 (非常勤) 田村 卓郎  
 社外監査役 今井 庸介  
 監査役 (非常勤) 大塚 榮子  
 社外監査役 (非常勤) 吉田 春樹  
**加盟団体** 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)  
 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)  
 社団法人日本生化学会  
 日本分子生物学会  
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

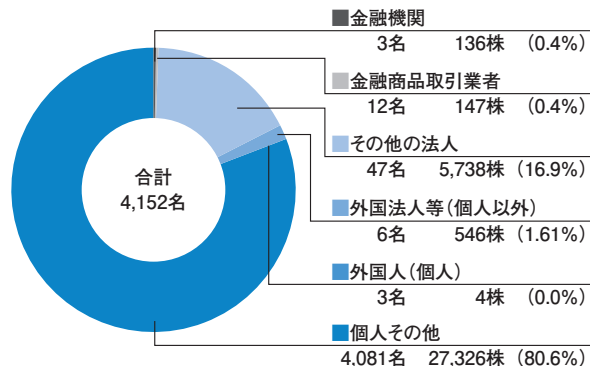
## ■ 株式の状況

①発行可能株式総数 100,800株  
 ②発行済株式総数 33,897株  
 ③株主数 4,152名

## ■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社日立ソリューションズ	3,266株	9.6%
松原 謙一	1,340株	4.0%
森 淳彦	700株	2.1%
枝松 七郎	634株	1.9%
藤尾 晋作	494株	1.5%
大塚 榮子	480株	1.4%
(株) サン・クロレラ	460株	1.4%
坪田 博之	383株	1.1%
井上 伸一	338株	1.0%
加藤 菊也	320株	0.9%

## ■ 株主分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告

電子公告は当社のホームページに記載しております。

ホームページアドレス

(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社  
東京都千代田区大手町二丁目6番2号  
(日本ビル4階)

(郵便物送付先) 〒168-8522  
(連絡先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
(お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009  
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の  
本店および全国各支店で行っております。

### ・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

## ■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>